

**事業目標 1：琵琶湖の魅力を深く掘り下げ、世界に紹介**

- 1-1. 世界有数の古代湖としての琵琶湖の価値を高める研究の推進 
- 1-2. 研究成果を国内外に発信し、琵琶湖の魅力を人々に伝える 
- 1-3. 研究の質を高める環境の整備ならびに研究の活性化 

**事業目標 2：資料を未来に遺し、どこからでも使えるように整備**

- 2-1. 標本・資料の管理体制の強化 
- 2-2. 標本・資料の整理の推進と公開による利用促進 
- 2-3. ICTを利用し、だれでも・どこでも・いつでも使える博物館を創出 

**事業目標 3：みんなで学びあう博物館へ**

- 3-1. 幅広いニーズに応える交流事業の充実 
- 3-2. 出会いの場の創出 
- 3-3. 「深く学ぶ力」に基づく琵琶湖学習の支援 

**令和5(2023)年度 内部評価**

**琵琶湖博物館**  
LAKE BIWA MUSEUM

出あい、学びあい、  
琵琶湖を世界へ  
発信する博物館へ

**事業目標 4：もっと使いやすい博物館へ**

- 4-1. 誰もが楽しみ学べる博物館展示への成長 
- 4-2. 「観る」展示から「観る+使う」展示への成長 
- 4-3. 社会の変化や研究成果を反映させた展示の成長 

**事業目標 5：より多くの人が利用する博物館へ**

- 5-1. ICTを活用した琵琶湖の魅力とその入口としての博物館の紹介 
- 5-2. 双方向の広報や各種調査・評価による情報収集と事業への反映 
- 5-3. 来館しやすい環境の整備 

**事業目標 6：博物館の活動を安定して継続する**

- 6-1. 老朽化した施設の改修と災害への備え 
- 6-2. 安定した活動基盤を確保する仕組みづくり 

**対象年度の重点事業実施傾向**

-  順調に進んでいる
-  維持・停滞
-  やや進んだ
-  悪くなった

**目標に向けた状態**

-  達成されている
-  少し課題が残されている
-  課題がある
-  大きな課題がある